

KOCHI 2012 ROTARY 2013 CLUB SINCE 1937



2012-13年度国際RIテーマ

週報



Weekly report 第3122回 2013年4月16日 2013年4月23日発行

● 会長挨拶

皆さんこんにちは。先週、北RCの次期会長に予定されておられた宗石さんが突然お亡くなりになって、お葬式に行っていました。来年度の北RCの会長人事についても、これから大変だということを伺いました。大変残念に思います。ご冥福をお祈り申し上げます。



既に皆さんご存じのとおり、私や広末副会長の母校である追手前小学校が先月で140年にわたる歴史を閉じ、新堀小学校に統合されました。明治5年、市立の小学校だったものが、高知市で最初の高知町連合公立小学校という名前でスタートしました。明治24年には高知市第三尋常小学校と名称を変更、当時の生徒数は1年から4年までの4学年で480人。戦後の昭和22年、追手前小学校と改称し、私の入学した昭和29年頃には1年、1クラス70人が6クラス、学年で400人以上、全校で2000人ほどの子どもたちが通っていました。私たちの学年では教室が足りずに仮設の教室で黒板に向かった生徒達もいました。それにしても、先月の時点で、越境入学を認めて無理矢理募集しても各学年20人程度、全校生徒130人ほどということを知り、本当に時代の移り変わりを感じます。高知市で一番古い、伝統ある小学校が幕を閉じたわけです。

この小学校を統合して跡地を他の用途に使おう、そうすべきだという意見は随分前からありました。その都度、卒業生やPTAの反対もあり、また教職員組合の強烈な反対に対して対峙するのを嫌う行政や政治は尻込みするばかりで、長年実現しませんでした。私は、最近の状況等を聞くにつけ早く統廃合すべきだと言いつつ続けてきましたが、小学校の同級生のおばさん達

は、歴史ある追手前小学校をなくすとは何ということだ。卒業生のくせに廃校なんて言い出すのは非国民だと随分非難されました。しかし、歴史があると言ったって100年ちょっと前は武家屋敷だったんじゃないの。少しずつ武家屋敷を継ぎ足してあの規模にまでしてきたのは、まだ100年しか経ってないよ。学校であれ何であれ、本当に必要だからこそ以前の方たちが譲ってくれて用途を変えてきたはずだ。高知市の発展のためには少人数でいつまでもやるべきじゃない。と常に反論してきました。

今回も一見正論風ですが、少人数の、声の大きいいくつかの団体の反対もありましたが、それを押さえてようやく統廃合、移転ということになりました。これは高知市の大多数の市民にとって、大変意義深い決断だったと感じています。この件に限らず、昔からこうだったという理由だけで、存在意義の薄れたり形骸化したものですら変えていくには大変なエネルギーが必要だということは、いたるところにあります。日本全体の人口が減り続けていき、高齢化し、税収も減っていく中で、高度成長時代のイメージのままで国や町の活力を維持していくことは不可能です。私たちはどうも各論では賛成しても、こと自分の身近なことに変化が及んでくると、途端に現状維持の反対論、各論反対を繰り返していき、くせがあるように感じます。

アベノミクス、憲法改正についてもそうです。厳しい反対論が出るほどの決断と実行力がなければ、本当に必要な方向への進路転換、改革などはできようはずありません。追手前小学校問題も安倍内閣も結果がその適否や価値を決めるであろうことはもちろんです。よい結果につながることを心から期待しています。それにしても「はりまや橋小学校」という命名は、何ともひどい命名だと感じるのは私一人でしょうか。大変残念な思いがします。

高知クラブが心を1つにして支える 関裕司ガバナーエレクト

■活動報告他

- ・4月19日(金) 地区大会ゴルフ・RI会長代理歓迎会/香川・高松
- ・4月20日(土)~21日(日) 地区大会/香川・高松
- ・4月27日(土) カウンセラー研修会・米山奨学生オリエンテーション
/高知パレスホテル
- ・4月28日(日) 第2回ローターアクト会長幹事会・地区RA委員会
/高知共済会館



4月20~21日 地区大会

■本日のプログラム [4月23日] ゲストスピーチ

オリックス(株)高知支店 支店長 芦田 隆氏 「ほかにないアンサーを」

● **ロータリーソング** 「我らの生業」

● **今週のピアノ曲** 「花」 ピアノ演奏：山内り会員



● **ロータリー財団委員会より**

来年度から、ロータリー財団のプログラムが新しくなりますが、高知クラブとしては2つの地区活動に対する案件の申請をしています。1つは新地区補助金奨学金制度、もう1つは地域に貢献する活動として、地球33番地を全国にPRしていこうとするものです。その中で、奨学金について、この3月高知大学を卒業された、当クラブ推薦の見津田さんが奨学生として内定をしたようです。彼女はイギリスのイーストアングリア大学に4年間留学をして、識字率向上等に関係する勉強や将来の仕事を目指して取り組んでいくとのこと。



● **幹事報告**

- ・地区大会では、次期年度のホストクラブになりますので大会はもちろん懇親会も最後まで出席します。その後、別会場で二次会の予定です。2日目は、午前10時ぐらいに次期大会実行委員長の永野会員が登壇して、次期大会の案内を行います。何人かに一緒に登壇していただきますので、指示があれば協力をお願いします。
- ・長期交換留学生、岡林そらさんの3月の報告書を回覧します。
- ・本日、例会終了後、臨時理事会を行います。
- ・4月30日はロータリー休日で、5月7日の例会では定例理事会を行います。



● **燦燦奨学生について**

4年前、燦燦奨学生として選考された1人の後藤麻友さんから、卒業した報告とお礼の手紙が届きましたので週報に掲載しています。後藤さんは当クラブの川添会員の近森病院に勤務することになりましたので、もし機会があれば声をかけてあげてください。



◆ **情報集会報告**

◎4月4日 Aグループ (報告・後藤義孝会員)

- ・情報集会を例会出席扱い、メイクアップと同等の扱いにするかどうか。情報集会をメイクアップとして認めるなら、皆の出席も真面目になるのでいいのではないかな。
- ・情報集会は会員間のコミュニケーションを図るのが目的で内容ある会合でありメイクアップと同等に扱うことに異義はない。
- ・昼の例会ではなかなか話せない、話したことのない人もいるので情報集会をメイクアップにするのはいいことではないかな。異論は全くなく全員賛成でした。
- ・情報集会及び例会の無断欠席者が最近多い。
- ・ノートに名前を書いて出席扱いになるのは変ではないかな。
- ・地区大会等の大会運営について、セレモニーがどんどん増え、時間が延びる傾向にある。
- ・会の1時間前から登録させたり、セレモニーが増殖するのは気になる。



- ・ご高齢の方も多く、よく倒れないものだと思っていた。どこかで変えないといけない。関ガバナーの時、変えないとこれからはできないのではないかな。
- ・ガバナーが交替した後、全クラブを回らなければいけないというのはおかしい。近隣クラブが合同例会等、まとめてやれば少ない数で済む。
- ・高知からやれば、他の県も乗ってくれるのではないかな。
- ・ロータリーの寄附について、趣旨が十分説明されず行われるケースがあり、もっと透明性を高めて欲しい。
- ・ファイナンスも十分オープンになってないのではないかな。
- ・ロータリー財団は、ロータリーの組織とは別に組織が肥大化しているのではないかな。
- ・みんな分からないから、前例踏襲になっているのではないかな。どうして決まったのか分からないものも多い。
- ・慣例だからとよく言われる。
- ・寄附金がどういうふうに使われているか知らされないから、ただ取られてるという感じを持つ



てしまうのではないか。運営も、中身がよく知らされてない。

- ・ある会長の時、1万円徴収という人頭割りの話がきた。会長は、突然訳の分からない寄附は自分の独断で受けられないと言って断った。その時に、会長は権限があると思った。
- ・国際奉仕について費用対効果があるのか。長期はそれなりに意味があると思うが、短期は物見遊山になっていないか、検証も必要。
- ・寄附金の使途について、支給対象になるのはロータリーの規定では「飢餓や紛争など」となっているが、高知の子どもたちに対してはそういった状況はない。一方、地域の子どもたちへの支援はなかなか認められない。
- ・例会の出欠連絡について、メールやフェイスブックが活用できるのではないか。
- ・せめて、前の日に連絡があれば当日の食事でバタバタしなくてよい。
- ・メールや携帯の利用については、パソコンやアドレスを持っていない会員もいるので、会員による意見の一致をみていない。
- ・親睦委員が後ろに固まっているのは問題ではないか。
- ・フラッグがあるのでそうしてしまう。
- ・以前、前にさらし者のように座らされてやめる人がいた。
- ・転勤族の人でも2年目になると別の委員会に入った方がいいのではないか。
- ・グループで固まって、同じテーブルの人しか知らないというのもよくない。

◎ 4月4日 Bグループ (報告・筒井善樹会員)

- ・変えるというより、まずロータリーのことを知ってもらうことが大切ではないか。
- ・伝統ある高知ロータリーではあるが、分かっているようで分かっていないことが結構ある。
- ・燦燦の募金箱を何の募金箱か意味が分からない方もいる。
- ・早退者を見て、早退のルールを知らないのではないかと思うことがある。
- ・新入会員にちゃんと教えていない、あるいは伝わっていないのではないか。丁寧に説明し伝えていくことが大切。
- ・親睦委員が多くなったと同時に親睦委員と話をするのが少なくなった。最近は名刺交換も少なくなった気がする。
- ・せっかく入会しても限られた方のみでの親睦になってはもったいない。
- ・情報集会は情報の交換にもなるし、親睦にもな



る。これはロータリーの原点であるし出席扱いにしてはどうか。

- ・出席扱いについては、20年ほど前から言われていることで、今年こそ変えたらいいのでは。
- ・寄附の強制はよくない。
- ・東日本大震災の時、1人3万の寄附が突然きたが、強制的寄附はおかしいのではないか。
- ・ロータリーの寄附のあり方もしっかりと考える必要がある。
- ・地区の運営について、組織が複雑で何をやっているのかよく分からない。
- ・事業の進め方もよく分からないし、お金がかかり過ぎる。
- ・セレモニーが多すぎる。もっとオープンにして分かりやすい仕組みをつくって欲しい。
- ・これを変えるのは関ガバナーエレクトしかいないので、ぜひ、今回変えて欲しい。情報集会でしか聞けない話も多く、有意義な会でした。

◎ 4月5日 AB 合同グループ (報告・吉村貴志会員)

- ・情報集会のメイクアップ扱いに関して、他のクラブでも実施していることであり、ノートに書くだけのメイクアップより意義があると思う。
- ・ノートのサインは、本来は例会変更を知らずに訪問された方へ、当該クラブが申し訳ないという気持ちで出席権利を与えるもので、これを変えてはいけない。
- ・事前に例会変更を公表して、それを知った上でサインだけのメイクアップをする方がおかしい。
- ・情報集会をメイクアップにするのは反対。
- ・直前で出席キャンセル等があると、段取りをしている事務局や幹事が大変である。出席権利を付与されれば、こういう問題の解決にもなるのではないか。
- ・夜間例会開始時間を18時半に変更について、特に異論はない。
- ・ガバナーの仕事、地区大会の運営についても、もっと効率化できないか。74クラブの公式訪問は大きな負担である。合同夜間例会等、まとめてやれば少ない数で済む。
- ・関ガバナーエレクトがガバナー月信をホームページの掲載に変えようというように形骸化、セレモニー化しているものを簡略、効率化していったらいいのではないか。
- ・関ガバナーがスタートする前にいろんな課題を挙げておけば、関さんなら蛮勇をふるって解決してくれるだろう。



- ・ガバナー補佐が各クラブを訪問するのも二度手間であるので省いたらどうか。
- ・訪問中にもし事故が起きた時のことを考えて、ちゃんと保険をかけるべきだ。
- ・地区代表幹事がガバナー事務所に行く費用等々の負担に対しても、ちゃんと対応すべきである。
- ・地区委員の活動内容や予算、経費など不公平な部分が多い。長短期事業についても会計が不透明である。
- ・地区委員の誰に聞いてもお金のことは分からない。会計をもっと明朗に開示すべきである。
- ・短期の場合も、ロータリアンの子弟の方が一般より負担が大きいのは矛盾している。アメリカでは、ロータリアン子弟の方が安い。

- ・高校生だけに限定しないで、小中学生にも対象を広げるべきではないか。
- ・ロータリーの理念の1つ、公平性が欠けている。
- ・地区委員会の事業を皆さんに理解してもらう努力が必要。
- ・地区委員会の活動内容をアピールする場、説明する場を卓話などで設けたらどうか。

◇ 出席率 ◇					
	総数	出席	欠席	メイクアップ	出席率
4月16日	(-9)82	49	20	4	72.60
4月 2日	(-8)82	53	12	9	83.78
地区大会	82	55	27		67.07

◇ 例会変更 ◇					
高知 R C	4月30日	ロータリー休日(三)	高知ロイヤルRC	4月30日	ロータリー休日(旭)
高知東RC	5月 1日	ロータリー休日(阪)	高知南RC	5月 2日	ロータリー休日(阪)
高知中央RC	5月 2日	ロータリー休日(城)	高知北RC	5月20日→19日夜間例会に変更(三)	
高知東RC	5月22日→24日8RC合同夜間例会に変更(阪)		高知南RC	5月23日→24日8RC合同夜間例会に変更(阪)	
高知中央RC	5月23日→24日8RC合同夜間例会に変更(城)		高知西RC	5月24日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)	
高知北RC	5月27日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)		高知 R C	5月28日→24日8RC合同夜間例会に変更(三)	
高知ロイヤルRC	5月28日→24日8RC合同夜間例会に変更(旭)				

※サインメーカーキャップのできるホテル (三)… 三翠園 (城)… 城西館 (阪)… ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)… ホテル日航高知旭ロイヤル

ニコニコ箱

- 川添 昇 家内のお花のお礼と燦燦奨学生の後藤麻友さんが私どもの職場に就職してくれてとてもありがたくニコニコします。
- 高村 禎二 妻の誕生日に美しい花のプレゼントありがとうございました。毎年助かっています。
- 亥角 政春 先週に続いて「カツオ人間写真集」、村上春樹さんの新刊の取材をしていただきました。高知新聞社様、テレビ高知様、ありがとうございました。

◇4月20日～21日 地区大会/香川・高松



● 累計額 [4月16日現在]

ニコニコ箱	985,100 円	ロータリー <small>さん</small> 燦燦基金	140,690 円	ポリオ募金	346,500 円
-------	-----------	------------------------------	-----------	-------	-----------

■ 次週のプログラム [4月30日]

ロータリー休日

◆ 5月7日のプログラム 南国高知FC 宮地 貴嗣 氏
「高知からJリーグ入りを目指して」

創立 昭和12年10月
例会日 火曜日 12:30~13:30
例会場 三翠園ホテル TEL(822)0131
事務局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階
TEL(824)8660 FAX(824)2529
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>